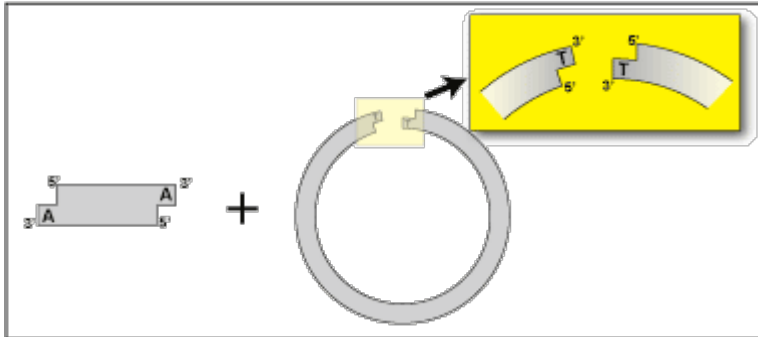


TAクローニング

オーバーハングがアデニンの断片とチミンの断片をリガーゼでライゲーションする、クローニング手法。TdT活性を持つポリメラーゼで作成したPCR産物のT-ベクターへライゲーションすることを示すことが多い。



ライゲーション反応は通常のリガーゼ反応と同様だが、キット製品によっては、ライゲーションの反応性を高めるためにT-ベクターの末端にトポイソメラーゼを結合させたものを用いているものがある。

他の方法との比較

この方法は制限酵素処理が無く、セルフライゲーションも（ある程度）防ぐことが出来るため、作業時間が短くてよいのが利点。一方、インサートの向きを決められないのが欠点である。（シークエンサーが気軽に使えるすばらしい環境だと欠点にはなりませんが・・・）

リンク

- [リガーゼ](#)
- [T-ベクター](#)
- [PCR](#)

From:

<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:

<https://bio.edu-wiki.org/ta%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0>

Last update: 2013/06/09 09:08

